

会 議 録

第2回定例会

開会 令和6年4月26日

教育委員会会議録

1 開 会 令和6年4月26日 午前10時

2 閉 会 令和6年4月26日 午前11時15分

3 教育委員会出席者

教育長	中川 齊史
委員	島 隆寛
委員	三木 千佳子
委員	河野 暁
委員	岡本 弘子
委員	横田 賢二

4 教育長及び委員以外の出席者

副 教 育 長	松本 光裕
教 育 次 長	海老名 正規
教 育 次 長	眞相 秀也
教育政策課コンプライアンス推進室長	織野 明弘
教育DX推進課長	戎 弘人
教育創生課長	藤坂 仁貴
義務教育課長	長谷 彰彦
いじめ・不登校対策課長	福多 博史
教育政策課長	内海 はやと
教育政策課副課長	櫻木 大介

[開 会]

教育長 定例会を開会する旨を告げる。

[会議録の承認]

教育長 配付されている会議録を承認して差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 会議録を承認する旨を告げる。

[議 事]

教育長 議案第4号、報告事項1及び報告事項4を非公開として差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 そのように取り計らうこととし、議事に入ることを告げる。

《報告事項2 1人1台端末について》

教育長 報告を求める。

教育DX推進課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

島委員：新規で入札・調達される4,000台の耐用年数は、5年ぐらい使用できるものなのか。

教育DX推進課長：今回の調達は、3年リースとしており、保証もついていることから、故障対応は担保されている。

岡本委員：高校での端末の使い方の詳細は分からないが、ちょっと使ってすぐに充電、ちょっと使ってすぐに充電という、バッテリーに良くないものかと思われる。使用状況を確認し、適切なタイミングで充電する等の指導もしていただければと思う。

《議案第1号 スクール・ミッションの見直しについて》

教育長 説明を求める。

教育創生課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

島委員：企業では、最近、経営理念に代わる言葉として、ミッション、ビジョン、バリューといった言葉が使われている。ミッションは存在意義、ビジョンは10年後のあるべき姿、バリューは価値観や行動指針であることから、ミッションはあまり変えるべきではなく、ビジョンを見直すといった形が混乱しなくてよいのではないか。

教育創生課長：教育大綱や教育振興計画の改定に合わせた見直しを検討する中で、高校によっては、コロコロ変えるものではないとのことで現在のままとしたり、細かなところまで記載していたものをより大きな方向を表す表現としたりした学校もある。

岡本委員：言葉選びで終わらないよう、具体的なものが見える形が望ましい。例えば、A高校の場合、「高い志を持って」というのは生徒の姿としてどう表れてきて、生徒がどのように思って活動しているのかが明確になるようにしていただきたい。

教育創生課長：各高校には、より具体的な内容がスクール・ポリシーに盛り込まれるよう依頼しており、提出された後には内容を確認する予定である。

三木委員：高校の在り方は、地域に大きな影響を与えると実感してきている。これらのミッションを踏まえた高校での学びが、どのような生徒の姿につながっているのかを知る機会があまりない。そういった追跡のようなものを行い、それを落とし込むことができれば、高校選びをする上で子供たちにとって分かりやすいものになるのではないか。

教育創生課長：学校運営協議会を活用するなどして点検評価を行っており、それがより見える形にしていければと考えている。

岡本委員：徳島県のいろいろな地域が、自治体として成り立っていないといわれており、それに高校は大きく関与している。高校3年間だけでなく、この先何十年を見据えた高校教育であるべきだと思う。徳島県がこのままでいいのか、自分たちがどう担っていくのかというような意識まで育てていける高校教育であってほしい。

島委員：ミッションはコロコロ変えずに追求し続けるものである場合が多い。他の委員さんがおっしゃるような成果については、指標化しないと達成できたかどうかは分からない。ビジョンとして10年後までの姿を掲げ、それに向かって1年ごとの検証を進めるといった形がよいと思う。

教育長 議案第1号を原案どおり決定してよいかを諮る。
各委員 異議なし。
教育長 議案第1号を原案どおり決定する旨を告げる。

《報告事項3 令和6年度徳島県公立高等学校入学学力検査集計結果について》

教育長 報告を求める。
教育創生課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

特になし。

《議案第2号 令和7年度使用教科用図書に係る徳島県教育委員会の基本方針について》

教育長 説明を求める。
義務教育課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

島委員：文科省の方向性としてデジタル教科書を導入していつている。小学校1年生から使用し、どのページをどのくらいの時間開いているかが分かって、その子を追い続けることができ、小中高とどういう学習履歴をたどっていくと、どのくらいの学力が身についていくかを追っていく構想があればすごいと思うのだが。そういう方向性に今のところ進んでいつているのか。

義務教育課長：国の方向性としては、各教科デジタル化を視野に入れて進めているが、現時点では紙の教科書による採択が原則となっている。本年度は英語についてはデジタル版を見ながら、何がふさわしいのか研究していく。

島委員：穿った見方になってしまうが、英語は新しく入ってきたということもあって教科書で収入を得ているという会社あまりなく、抵抗勢力がなくて入れやすかったのではないかと邪推してしまう。

岡本委員：文科省からも紙の教科書を原則に採択するようにと出ているが、今、指導者用のデジタル教科書はたくさん使われているように思われる。だから、紙の教科書だけでなく、指導者用のデジタル教科書も確認して採択する必要があるのではないかと思われる。学習者用デジタル教科書は優れていても、指導者用は優れていないという会社もあるようなので、優れていない部分を改善してほしいということも、教科書会社に言っていく必要がある

のではないか。もう一点は、見本の展示会場のことである。小学校が展示会場となっている地区があるのが気になる。以前、教科書採択の仕事をしていた時、会場となっていた学校から「やめてほしい」との意見があった。「職員室が手薄で来客に対応する人がいない」との理由であったが、来場者からも同じことがアンケートに書かれていたりした。その後、自分がその学校に赴任した時、安全上心配がある上に、対応する人がいない厳しい状況であることを実感した。また、今回、中学校の採択なのに小学校で展示会をするというのはいかがなものか。対応上の問題から、学校で展示するのは難しいので、公立の図書館等ですべきだと思っている。

義務教育課長：これは、採択地区ごとの事情にもなるが、三好採択地区に池田小の状況を聞いたところ、教頭を中心に学校の職員が対応しているようだ。ただ、来客数としてはそれほど多くはないので、現時点では業務負担にはなっていないと聞いている。また、今後とも続けて三好採択地区については動向を注視していきたい。

三木委員：デジタル教科書にすることによる成果的なものが表れてくるのはどのくらいでなのか。検証はできているのか。

義務教育課長：実際の使用例が乏しく、デジタルが紙と比べて効果があるというような先行例はたくさんは出ていない。だから、何年後に効果が出るという目安は出ていないと思われる。

三木委員：年にもよるだろうが、デジタルがあることによってかえって気が散って、学習への集中がそがれてしまうという話を聞いたことがあるので、デジタル教科書を採択の時にどれくらい考慮するものなのか気になった。

義務教育課長：現在は紙の教科書を採択することとなっている。今後、国全体としてデジタル化の動きがあるので、何らかの方針が出てくるのではないかと想定はしている。

三木委員：具体的に何年度までにどうするという話は出ているのか。

義務教育課長：出てはいない。先ほどもお伝えしたように、本年度は英語のみデジタル教科書が見本として届けられることになっている。ただ、紙の教科書が原則であり、デジタル教科書を見て、紙の教科書にない特徴があるなら、調査の参考とすることもできる。

河野委員：英語は紙の教科書かデジタル教科書のどちらかを採択することになるのか。

義務教育課長：使うのは紙の教科書で、デジタル教科書も同時に各学校に提供される。

教育長 議案第2号を原案どおり決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第2号を原案どおり決定する旨を告げる。

《議案第3号 徳島県教科用図書選定審議会への諮問事項について》

教育長 説明を求める。

義務教育課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

岡本委員：以前の紙の教科書と違って様々なQRコードが付いていたり、視覚・聴覚に訴えるような資料がたくさん出ていたりするが、そういったところも採択基準の中に入っているのか。

義務教育課長：多くの教科書会社が、QRコードをたくさん掲載している。基本的には紙ベースで見ていくが、すべてのQRコードを見ていくことは調査上難しいので、いくつかピックアップして確認し、特徴的なものは調査票の中に記述方式で記載することもある。ただ、必ずしもQRコードを全て見て調査するというようには示されていない。

岡本委員：特別な支援が必要な子供や、様々な子供たちにとって重要であると思うので、そういうことも考慮して採択していく必要があるのではないか。

義務教育課長：再度、国の方針を確認して、今後、選定審議会や専門調査員会があるので、対応していきたい。

教育長 議案第3号を原案どおり決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第3号を原案どおり決定する旨を告げる。

[非公開]

《議案第4号 徳島県教科用図書選定審議会委員の任命について》

《報告事項4 文部科学省への報告について》

《報告事項1：公益通報の受付・処理状況について（令和6年1月から3月分）》

[閉 会]

教育長

本日の議事が全て終了したので閉会する旨を告げる。

閉 会 午前11時15分